

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浦川小) 学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長から、グランドデザインや学校運営の基本方針、学校の現状、目指すもの等丁寧な説明があり、納得することができた。また、委員相互で様々な視点から意見を述べ、地域、家庭も含め一緒に子供たちを育てていく必要性を考えることもでき、熟議することができた。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

コロナ禍において、小規模校という特徴を生かし、どのような活動ができるか考えることができ、今まで活動してきた内容を振り返り、熟議することによりさらにブラッシュアップして活動することができた。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

少しずつではあるが、CSに対する地域の方々の理解や参加・協力が増えてきているように感じる。地域の方の学習ボランティアへの参加は、地域の伝統文化や地域の特性を知る上ではとても大切であると感じた。地域の方々の中にも地元のことを知らない方が多くいるはず。今後は、地域の企業や各種団体とも協力し、地域の方と一緒に学べる時間が作れるよう学校とも連携を図っていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の活動において教職員・児童・保護者・地域と連携し、協働することはできたか。

教職員・児童・保護者との意見交換の場がなく、まだまだ改善していく余地はあるものの、CSディレクターと学校支援コーディネーターが学校と地域との間に入っているため、比較的スムーズな連携ができていると感じる。また、CS通信による情報発信が地域の方の関心にもつながり、地域の美化活動や行事への参加の増加になっており、協働することもできてきている。